

- 問1 5世紀の朝鮮半島の情勢において、北部に位置する強大な高句麗が南下政策を進める中、倭（日本）と活発に交流を持ち、共同の利害関係にあった朝鮮半島南部の国々の組み合わせとして適切なものはどれですか。（2026年 群馬県公立入試 類似）
1. 百済・新羅 2. 隋・契丹 3. 高麗・渤海 4. 唐・宋
- 問2 5世紀頃、日本の王たちが中国の皇帝に使節を送った背景や目的として、最も適切な説明はどれですか。（2017年 鳥取県公立入試 類似）
1. 仏教を日本に広めるために、中国から高僧を招くとともに、寺院建築や経典などの進んだ文化を公的に導入するため。
2. 遣唐使を廃止することで大陸との交流を制限し、日本独自の国風文化を育むとともに、律令国家の形成を早めるため。
3. 後漢の皇帝から「漢委奴国王」と刻まれた金印を授かり、九州北部における小国の連合を束ねる権威を確立するため。
4. 中国の皇帝から地位の承認を得ることで、朝鮮半島での軍事的外交関係を有利に進めたり、高度な技術を導入して統治を強固にするため。
- 問3 5世紀の日本において、大和政権が広範囲を支配していたことを示す証拠として、埼玉県の稲荷山古墳から出土した鉄剣があります。この鉄剣には表面に金象嵌（きんぞうがん）で文字が刻まれており、そこに見られる、当時の大和政権の王を指す名称として正しいものを選びなさい。（2014年 和歌山県公立入試 類似）
1. 聖徳太子 2. ワカタケル大王 3. 卑弥呼 4. 中大兄皇子
- 問4 古墳が作られていた時代に、中国大陆や朝鮮半島から移り住んできた人々が果たした役割について、技術や文化の面から説明したものとして最も適切なものはどれですか。（2023年 岡山県公立入試 類似）
1. 鉄砲やキリスト教を日本に伝え、ヨーロッパとの貿易（南蛮貿易）を主導した。
2. 須恵器の製作技術や金属加工、漢字、仏教などの高度な文化・技術を伝えた。
3. 九州北部の防備にあたりとともに、防人として東国から徴集された。
4. 唐の優れた制度や文化を直接日本へ持ち帰るため、定期的に使節として派遣された。
- 問5 古代、朝鮮半島や中国大陆から日本列島へ移り住み、高度な技術や文化を伝えた人々は、仏教とともに漢字を日本へ伝えました。この、大陸から移住して日本列島の文化や政治に大きな影響を与えた人々を何と呼びますか。（2026年 神奈川県公立入試 類似）
1. 遣隋使 2. 防人 3. 御家人 4. 渡来人
- 問6 古墳時代、朝鮮半島から伝えられた技術を用いて作られた土器があります。斜面を利用した穴窯（あながま）の中で、1000度以上の高温で焼き締められた、灰色で硬質な特徴を持つ土器の名称を答えなさい。（2021年 群馬県公立入試 類似）
1. 須恵器 2. 土師器 3. 弥生土器 4. 縄文土器
- 問7 古代の日本と朝鮮半島の国々との関係について、百済が大和政権に与えた影響を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。（2020年 熊本県公立入試 類似）
1. 大和政権と結びつき、仏教や儒教などの大陸文化を伝える窓口となった
2. 大和政権に対して、魏志倭人伝に記されたような金印を授与して冊封関係を結んだ
3. 日本に鉄資源を供給することを主な目的として、九州北部に軍事拠点を置いた
4. 唐と結んで、朝鮮半島を初めて統一するための軍事的な支援を日本に求めた
- 問8 倭の五王の一人である「武」は、中国の南朝の皇帝に上表文（手紙）を送り、自らの祖先がいかにして国土を広げたかを伝えました。この「武」は、日本の歴史上のどの人物であると比定（推定）されていますか。（2024年 大阪府公立入試 類似）
1. ワカタケル大王（雄略天皇） 2. 卑弥呼 3. 聖徳太子（厩戸王） 4. 中大兄皇子（天智天皇）
- 問9 古墳時代に大陸からの渡来人がもたらした技術や文化について、当時の状況を説明した文として最も適切なものはどれか。（2024年 鳥取県公立入試 類似）
1. 木製農具や石包丁を用いた水田稲作とともに、赤褐色で薄手の土器が広まった。
2. 仏教が伝来し、寺院の屋根を飾るための瓦を焼く技術が初めて日本列島に導入された。
3. 山の斜面を利用した穴窯を築き、高温で焼き上げる硬質の須恵器の製法が伝わった。
4. 表面に縄目の文様を施し、食料を煮炊きするための厚手の土器が各地で作られた。
- 問10 5世紀、ヤマト王権の首長たちは「倭の五王」として中国の南朝へ使者を派遣し、朝貢を行いました。この外交活動の主な目的を説明した文として、最も適切なものはどれですか。（2024年 山口県公立入試 類似）
1. 朝鮮半島での軍事的な優位性や鉄資源の確保に加え、国内での政治的地位を認めてもらうため
2. 隋に対して対等な立場での外交を求め、中国の進んだ律令制度をいち早く導入するため
3. 邪馬台国の卑弥呼が魏から受けた称号と同様の権威を背景に、九州地方の豪族を支配するため
4. 仏教の公伝をきっかけとして、大陸の進んだ建築技術や工芸品を組織的に輸入するため
- 問11 古墳時代のヤマト政権における、大王と豪族の関係性や政治の仕組みについて述べたものとして、正しいものはどれですか。（2026年 和歌山県公立入試 類似）
1. 大王は中国の皇帝から派遣された官僚であり、豪族の意見を聞かずに政治を行った。
2. 大王は宗教的な権威のみを持ち、実際の政治や軍事の権限はすべて豪族が握っていた。
3. 大王はすべての豪族を武力で排除し、対等な関係を持つ勢力が存在しない独裁体制を築いた。
4. 大王は、有力な豪族たちと連合し、彼らに従えることで政権を運営した。
- 問12 古墳時代中期（5世紀）の日本において、近畿地方に巨大な前方後円墳が相次いで作られた一方で、熊本県や埼玉県という離れた地域から同一の大王名が刻まれた鉄剣が発見されている理由として最も適切なものを、次の選択肢の中から1つ選びなさい。（2025年 宮崎県公立入試 類似）
1. 近畿地方を本拠地とするヤマト王権が地方の首長と結びつき、支配勢力を広範囲に拡大させたから
2. 九州地方の邪馬台国が全国の首長に従えて巨大な墳墓を各地に建造させたから
3. 中国の皇帝から与えられた鉄剣を全国の首長が共有して保持していたから
4. 地方の首長たちが独自に近畿地方の技術を模倣し、政治的影響力を強めたから
- 問13 400年頃に倭王が中国へ使いを送っていた記録がある時代から、平城京へと遷都されるまでの期間にかけて、日本列島では大陸との交流が盛んに行われました。この時期の文化や技術の伝来について述べた文として、正しいものを選択してください。（2023年 愛媛県公立入試 類似）
1. 渡来人によって、須恵器の製作技術や、漢字・儒教・仏教などが日本へ伝えられた。
2. 大陸との交流を通じて、源氏物語や枕草子に代表される国風文化が開いた。
3. 中国から大量の銅銭が流入したことで、須恵器に代わって貨幣経済が急速に発達した。
4. 大陸から最新の農業技術が伝わり、脱穀のための千歯扱きが全国に普及した。